

# 安来市立第三中学校 学校経営案

## 1 学校教育目標

温かくたくましい人間力をもった生徒の育成

## 2 校訓とめざす生徒像

自主 自ら考え判断して行動し、生涯にわたって学び続けようとする意欲をもった生徒

誠実 真心を込めて行動し、責任を果たす実行力のある生徒

協同 自他を大切に研かれた人権感覚をそなえ、助け合いながら切磋琢磨する生徒

健康 心身ともに健康で、個性豊かな、活力ある生徒

## 3 めざす学校像

- 明るく、生き生きと生活できる学校
- 誰もが安心して自己実現を図れる学校
- 地域とともに歩み続ける学校

## 4 めざす教職員像

- 人間性豊かで、高い人権感覚をもつ教職員
- 研修に励み、専門的知識・技能の向上に努力する教職員
- 保護者、地域から信頼される教職員
- 互いに切磋琢磨する教職員

## 5 学校経営方針

人権尊重の精神を基盤とし、「絆」を大切にした教育を推進するとともに、地域とともにある創意と活力のある学校づくりに努める。

～共有したい学校像～

みんなの笑顔が輝く学校 ～ユーモアのある学校～ ※ユーモアとは

みんなの笑顔が輝く学校になるために

【活 気】 明るく、生き生きと生活できる学校……………→活気のある学校

【温もり】 誰もが安心して自己実現を図れる学校……………→心を育む学校

【信 頼】 地域とともに歩み続ける学校……………→潤いのある学校

～生徒指導目標～

誰もが居心地のいい学校 ～自分を大切に 他の人も大切に～

①「誰もが」とは……………三中生、全教職員。来校者や地域の人までも。

②「居心地がいい学校」とは

……・感じる心（目に見えない大切なものを感じる心）がある

・目に見えない大切なものを表現する

・みんなのことを考えた言動ができる

・気持ちのよいあいさつができる

・悪口や陰口、いじめがない

※生徒にとっても、全教職員にとっても、保護者や地域の人にとっても居心地のいい学校に

## 【経営の重点】

### (1) 基礎的な学力の定着・学習習慣の確立と思考力・判断力・表現力等の育成

#### ① 基礎的な学力の育成と学習習慣の確立

- ア 学習の「めあて（ねらい）」の提示と「まとめ」の整合性を重視した授業を行う。  
（「何を学ぶのか」「何ができるようになったのか」がわかる授業により、基礎的な学力の定着を図る。）
- イ 基礎的・基本的な学習内容についてのドリル学習（反復学習）、基礎学力テストなどを取り入れ、放課後学習などを活用した個に応じた指導を徹底する。
- ウ 家庭学習の在り方や方法、内容などを具体的に指導し、家庭学習習慣の形成を図る。  
（家庭学習の手引きを作成し、家庭との連携を図る。）

#### ② 思考力・判断力・表現力等の育成

- ア 授業の中で、獲得した知識や技能を「活用する場面」や思考ツールなどを活用して「思考する場面」を積極的に設定し、全ての教科における「言語活動」を重視した学習を展開する。（協働的な学び）
- イ 課題発見力・課題解決力育成のため、体験的な学習を通じた探究的な学びを展開する。  
（自然体験、文化体験、職場体験、福祉体験、防災学習など計画的に取り入れる。）
- ウ 探究活動や課題解決場面において、積極的な学校図書館を活用した学習を展開する。そして、全ての教科において、学校図書館の活用方法を追究し、研究を重ねる。

#### ※ わかる授業づくりとICT活用

- ・ 教師自らが研究心・向上心を持って日々の授業に臨む。（本気で授業を変える）
- ・ 個々に有する教育資産（知見や指導技術）を公開し、相互に授業力の向上を図る。  
特に、一人一台端末PC（Chromebook）の活用とICT教育の定着に努める。

### (2) 生徒理解の推進と個に徹したきめ細かな指導

#### ① 生徒理解の推進

- ア 日頃から生徒の声に耳を傾け、対話や計画的な教育相談を通じた共感的理解を推進する。
- イ 研修や情報交換を通じた特別な支援の必要な生徒についての理解を推進する。
- ウ 特別支援教育コーディネーター、教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー等との情報共有やケース会議、それぞれの立場での対応とコンサルテーションを実施する。

#### ② 個に徹したきめ細かな指導

- ア 生徒の「困り感」を捉えた聴覚・視覚・触覚などの生徒の特性を踏まえた指導をする。
- イ 不登校傾向の生徒や教室に入りにくい生徒についての情報共有と組織的な支援および家庭や関係機関との連携を図る。

### (3) 温かい人間関係と自治的な能力を培う学級・学校経営

#### ① 温かい人間関係の育成

- ア 全教育活動を通じた道徳教育や人権・同和教育、特別支援教育を推進する。
- イ 違いを認め合い、温かい言葉やコミュニケーションによる絆づくり、「折り合いをつける力」を重視した集団づくりを推進する。
- ウ 生徒相互の心をつなぎ、教師自身も自らの道徳観と向き合う「道徳の時間」を実践する。
- エ 「いじめ」根絶をめざし、生徒も教職員も見逃さない力を高める取組と事案への速やかな組織的対応を推進する。

## ② 自治的な能力の育成

- ア 互いに共感的に自己主張をしながら、学校や学級をよくしていこうとする力の育成をめざした積極的な「話し合い活動」を推進する。
- イ 社会貢献の精神育成のための地域ボランティア活動を推進する。
- ウ 生徒の自主的・自発的な参加によりスポーツや文化に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感を育成する部活動を推進する。

## (4) 小中の連携教育と開かれた学校づくり

### ① 荒島・飯梨・赤江小学校との連携

- ア 「三中ブロック小中連携教育推進委員会」を中心とした校区小学校との教育理念の共有と行動連携を推進する。
- イ 校種を越えた子どもの理解を深めるための、校区内小・中学校間の授業交流を推進する。

### ② 開かれた学校づくり

- ア 地域の一員としての自覚を深めるため、地域におけるボランティア活動や体験学習などを通して、地域の「ひと・もの・こと」を生かしたふるさと教育を推進する。
- イ 保護者や地域への積極的な学校公開と広報活動を実施する。

## (5) 安心・安全で、落ち着いた教育環境の整備

### ① 安心・安全で、落ち着いた教育環境づくり

- ア 身の回りの生活の安全、交通安全、防災に関する指導を実践する。
- イ 危機管理意識に基づく、校舎内外の定期的な点検と改善を実施する。

### ② 適切な言語環境づくり

- ア 学習への活用や読書の推進に向けた図書や図書館を整備する。
- イ 生徒同士、生徒と教職員間の適切な言葉遣いに努める。
  - ・ 校内掲示、配付物等、適正な用語や文字を使用した掲示を実践する。

## (6) 教職員の資質の向上

- ア 年間を通じたサービスに関する研修やOJTによる研修を実施する。
- イ 教科を越えた取組による全教員の研究授業を実施する。
- ウ 初任者研修を学校全体の取組とし、個々の教職員としての資質を高める。
- エ DX化推進に柔軟に対応できるようICT活用を促進する。
- オ 報告・連絡・相談が気軽にできる職員室風土を醸成する。

### 【学校運営のイメージ】

S B 「安三号」

